

ネット活用し遠隔監視

小松電機
産 業 安芸市に「やくも水神」納入

小松電機産業（本社・島根県松江市、小松昭夫社長）は、上下水道計測・制御・監視システム「やくも水神」を高知県安芸市に一括納入した。

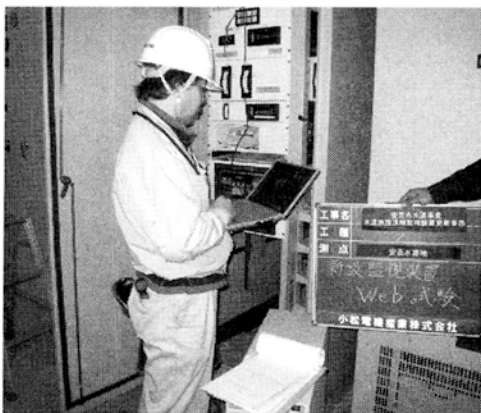
上下水道施設をインターネット（FOMA網）経由で、パソコンや携帯電話での遠隔管理ができる装置。中央監視装置や大規模な職員体制を置か

ず、24時間監視が可能で、装置のコンパクト化や維持管理の広域化、維持経費の削減などに貢献している。

同社は「やくも水神」による施設管理として、水道では▽水道施設管理システム（マスター水神）▽水道施設監視制御装置（パッケージ水神）、下水道では▽マン

ホールポンプ制御盤▽下水道施設監視制御装置（パッケージ水神）を全国自治体に提案。

その他、既存制御盤への後付管理として、▽多目的管理（コントロールユニット）▽ゲート管理制御▽水位・流量観測▽消・融雪施設管理制御▽カメラ監視などの各システムも揃えている。



監視部分だけの交換で現場作業は約半日で完了

監視に用いるサーバーは、二重化しているNTTドコモ代々木ビル（東京都渋谷区）と同社本社

（松江市）の東西2拠点に設置。万全な災害対策体制を敷いている。また、「やくも水神」は

中央監視装置・ソフト開発が不要で、通信費も既存の専用回線などに比べて、半額以下に設定されている。

さらに、異常発生時には、システムからパソコンや携帯電話にメールで情報を一斉送信する。このため、職員間をはじめ、関係者とも連携したトラブル処理ができ、的確な施設管理につながる。

今回は安芸市の水源地13カ所（上水道7カ所・簡易水道6カ所）の遠隔監視に対応するため、今

年3月に「やくも水神」を納入。同市は旧設備の更新需要と財政の健全化に伴うコスト削減、災害時の万全な対応などを図るため、総合評価方式で選定した。なお、総事業費は約4千万円となっている。